学校番号	3031

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	工芸Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「工芸Ⅰ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1 年生の授業では、工芸の技法を一通り体験できるように「樹脂」「染織」「陶芸」の 3 つ技法を用いた課題を用意しています。身近にある工芸品がどのように作られているのか、その入り口を体験しながら、色や形といった造形的な美しさや素材の美しさに加えて、使う用途・目的に即した形など『表現』について学びます。また、『鑑賞』を通して、作品の意図や工夫などを読みとり、自己の表現に生かしましょう。
・制作全般を通して「綿密な下準備」「注意力（多くの道具を使うため）」「色々なものをアイディアに取り込んでいく発想力」が大切です。1 つの手作業から多くのことを見出して工夫しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、意図に応じて制作方法を創意工夫し、表現することができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、心豊かに発想し、構想を練ったり、工芸の伝統と文化についての理解を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・制作方法を理解し、工芸表現に必要な技能を身につけ、意図に応じて材料や用具を活用することができている。	・身の回りにある自然を深く観察し、生活体験の中で感じ取ったことや考えたこと、用途と美しさの調和を考え、素材や表現の良さを生かした構想を練っている。 ・工芸の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や工芸文化に関心を持ち、表現や鑑賞に取り組む。	・制作方法を理解し、工芸表現に必要な技能を身につけ、意図に応じて材料や用具を活用することができている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	『透明樹脂のペン立て』	【樹脂】 石膏と油粘土を利用した型抜き法を用いて、透明樹脂のペン立てを制作する。 樹脂には色を付けたり、好きなものを封入する・針金等で補助的なパーツを付けるなど想像力を働かせて制作する。 ■制作 ・展開、構成スケッチ 油粘土のマケットと石膏、作品がどのような関係性で出来上がるのかを理解し、攻勢を考える。 ・樹脂の流し込み 封入物によってどのタイミングで樹脂を流し込むか、検討しながら作業をする。 ・離型作業 石膏型から作品を取り出す。 ・研磨 取り出した作品を研磨する。	a: 樹脂を取り扱う基本技術を理解し、素材の特徴を生かして表現しようとしている。（知識・技能） b : 身近な素材からヒントを得て攻勢を考え、樹脂の素材を生かした構想を練っている。（発想や構想） b：樹脂や付属物のよさや美しさ、生活や社会を豊かにする工芸の働きについて理解を深めている。（鑑賞） c: モチーフの観察から特徴や造形的要素、美しさを感じ取り、制作活動に取り組もうとしている。	スケッチ 文様・図案 構成図 制作途中の作品 提出作品	スケッチ 文様・図案 構成図 制作途中の作品 提出作品	スケッチ 文様・図案 構成図 制作途中の作品 提出作品 振り返りシート

	『鑑賞レポート』	【鑑賞】 大阪府高等学校美術・工芸展もしくは近郊の美術館での鑑賞レポート ・本物をじっくり味わい鑑賞しレポートにまとめる。	a: 他者の作品を理解しようとしている。（知識） b: 作者の意図や工夫を感じ取り、理解を深める（鑑賞） c: 他者の作品を理解しようと取り組んでいる。			レポート
後期	染織 『藍染の抜染エコバック』	【染織】 藍染（抜染）の技法を使って型染めでエコバックを制作する。観察力・想像力を高め、造形上のヒントを見つけ出すための眼を育てる。また、文様を反復させ配置やバランスを考えることで構成について学習する。 ■制作 ・模様、図案制作 身近な広告・本・雑誌等からヒントを得て模様を考える。 ・展開、構成スケッチ 文様の形を展開し、出来上がった文様を反復させ配置やバランス、構成を考える。 ・染め 布を染める。 ・型紙つくり 文様を切り抜き紗張りする。 ・抜染 抜染糊を置き、抜染後洗い落とす。	a: 染や型作りの基本技術を理解し、素材の特徴を生かして表現しようとしている。（知識・技能） b : 身近な素材からヒントを得て図案化し、構成の調和や藍染の素材を生かした構想が練っている。（発想や構想） b：染色のよさや美しさ、生活や社会を豊かにする工芸の働きについて理解を深めている。（鑑賞） c: モチーフの観察から特徴や造形的要素、美しさを感じ取り、制作活動に取り組もうとしている。	スケッチ 文様・図案 構成図 制作途中の作品 提出作品 振り返りシート	スケッチ 文様・図案 構成図 制作途中の作品 提出作品	スケッチ 文様・図案 構成図 制作途中の作品 提出作品
	陶芸 『日常生活で使用できる器つくり』	【陶芸】 紐作りの技法を用いて、器（急須や湯飲み）を制作する。技法について学習するとともに、素材や技法の持ち味を生かしたデザインを考える。また、素材に対する理解を深め、造形的発想力の伸長を図る。 ■制作 ・練り ・紐作り ・自由成形 ・施釉	a: 器のデザインについて理解し、陶の素材を生かして表現しようとしている。（知識・技能） b : 身近な形や持ち手からヒントを得て形を探り、陶の素材や技法を生かした構想が練っている。（発想や構想） b：陶芸のよさや美しさ、生活や社会を豊かにする工芸の働きについて理解を深めている。（鑑賞） c: 紐作り、板作りといった成形の基本技術を習得し、素材や技法の特徴を生かして、制作活動に取り組もうとしている。	制作途中の作品 提出作品 振り返りシート	制作途中の作品 提出作品	制作途中の作品 提出作品

	校内作品展鑑賞	【鑑賞】 校内作品展鑑賞。美術のみならず、広く芸術表現について(工芸・書道も含む)鑑賞し、味わう。	a: 他者の作品を理解しようとしている。(知識) b: 作者の意図や工夫を感じ取り、理解を深める(鑑賞) c: 他者の作品を理解しようと取り組んでいる。	レポート	レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度